

B

16

富山県電気工事工業組合

組合員への集合研修の実施および地域の工業高校へのPR事業

| | | | |
|---------|-------------------------------|---------|-----------------------------|
| 住 所 | (〒930-0835) 富山県富山市上富居1丁目7番12号 | | |
| 電 話 番 号 | 076-471-7551 | U R L | http://www.tomidenko.or.jp/ |
| 設 立 | 昭和22年4月 | 出 資 金 | 307,000千円 |
| 主 な 業 種 | 電気工事業 | 組 合 員 数 | 614人 |

背景と目的

高度情報化社会の流れに的確に対応するための知識の向上や技術力のアップや今後社会的に増すであろう電気工事の重要性を背景に、人材の確保と育成は喫緊の課題となっている。現状の人材育成はもちろん、未来の人材確保のために若い世代へ業界の魅力をアピールすることと安全かつ正確に施工するための技術力向上は、組合全体においても強力に進めていく必要があった。

事業・活動の内容と手法

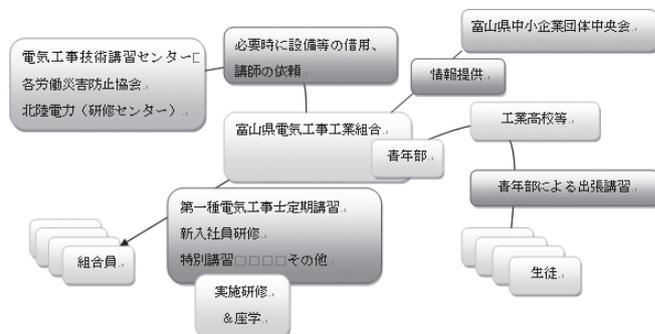
新たな担い手の確保に関しては、地域の工業高校への説明会を実施した。実施においては、青年部が主体となりDVDや写真を用いて電気工事業界の実態や魅力を説明した。また、就職にあたっての不安や悩みを聞き、「意見交換」の場をもつことで不安を払拭し、進路の選択肢として理解を深めてもらうことに努めた。青年部が主体となって取り組んだことにより、生徒に近い意識を持ったうえで対応できた。また、この取組みを実施したことにより、生徒だけでなく教師とも接する機会が増え、学校との関係も深めることができた。

各種講習会については、第一種電気工事士定期講習を継続して実施するとともに、電力会社、電気工事技術講習センター、各労働災害防止協会等の外部の企業・機関に講師の依頼や設備等の借用等において連携して効率的に実施した。

今後の人材育成の取組みについては、担い手を増加させていくためのPRを今後も継続して取り組み、若い世代への理解を深めることを推進する。工業高校での実施の定期化を検討していくとともに、PRする内容もよりわかりやすくなるように改善していく。また、集合研修の実施についても改善を進め、技能者の育成に注力していく。

成 果

工業高校へのPR事業では、実施した高校において仕事内容等の説明や質問を直接受けることにより、生徒・教師への理解が実施前に比べて進んだ。各種講習会は多数の組合員に活用されている。また、所属事業者が異なる混合班での実施研修によって、事業者の中では気づかなかった新たな改善点の発見にもつながった。



工業高校での意見交換



電柱作業の研修



事業・活動推進のキーファクター

工業高校へのPR事業では青年部による活動であったことと準備期間も含め学校との関係強化にも注力したこと、各種講習会では外部連携と特別講習への工夫が成果実現に結びついている。

A 地域の魅力発信によるグローバル需要開拓

B 地域産業を担う人材の確保・育成

C 組合事業による新たな展開